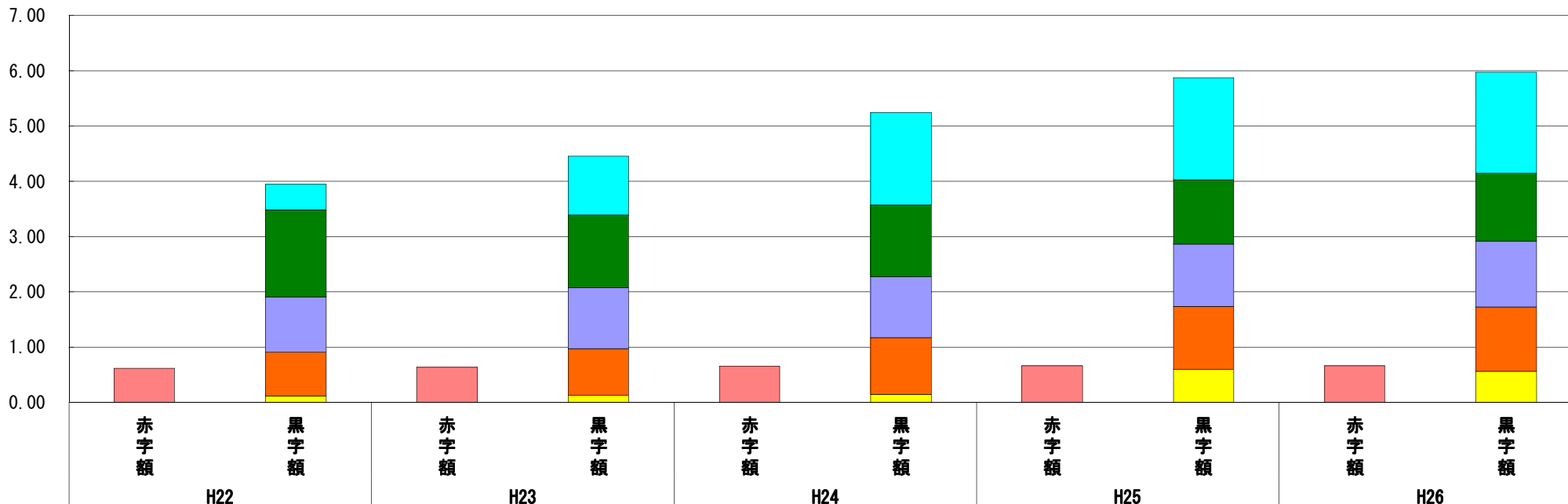


(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（都道府県）

平成26年度

愛媛県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
県有林経営事業		▲ 0.62	▲ 0.64	▲ 0.65	▲ 0.66	▲ 0.66
病院事業会計		0.47	1.07	1.68	1.85	1.83
一般会計		1.57	1.32	1.30	1.17	1.23
工業用水道事業会計		1.00	1.10	1.10	1.12	1.19
電気事業会計		0.79	0.84	1.03	1.14	1.17
港湾施設整備事業特別会計		0.12	0.13	0.14	0.60	0.56
自動車集中管理（重複会計）		0.00	▲ 0.00	▲ 0.00	0.00	0.00
災害救助基金		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

県有林経営事業特別会計は、木材価格の低迷により木材販売収入が育林コストを下回り赤字が続いている。現在、平成11年度に策定した経営計画「県有林経営の新たな改善方向（H12～H76）」に基づき、財政の健全化等に取り組んでいるところである。

一方、病院事業会計は、赤字決算が続いていた県立三島病院を平成21年度末をもって民間移譲したことや平成22年度からの7対1看護体制整備など第3次財政健全化計画に基づく各種施策に取り組んだ結果、現金収支が改善し、その他の会計とともに健全な財政状況となっている。

また、工業用水道事業会計において、東予インダストリアルパークの土地売却に伴い資金剰余額が増加となった。